

秋 田 県

土木工事共通仕様書

平成26年4月1日以降適用

出来形管理基準

【治山・林道編】

赤字：秋田県独自項目

青字：今回改訂部分

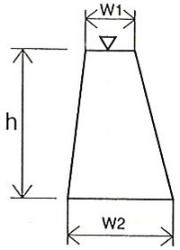
(H26.4.1改訂)

— 表紙 (裏) 空欄 —

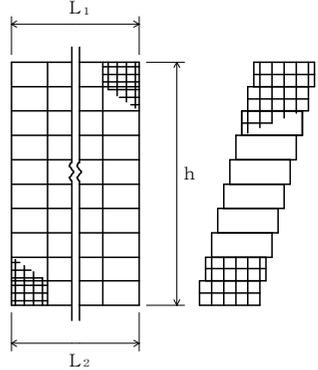
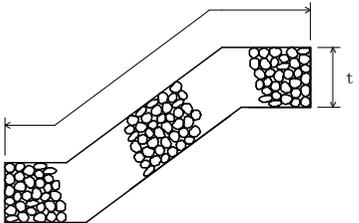
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治 山 編	1 森 林 整 備 工 事 の 適 用	5 一 般 施 工	1		植生工 (種子吹付工) (張芝工) (筋芝工) (市松芝工) (植生シート工) (植生マット工) (種子筋工) (人工張芝工) (植生穴工)		
18 治 山 編	1 森 林 整 備 工 事 の 適 用	5 一 般 施 工	1		植生工 (厚層基材吹付工) (客土吹付工)		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第1編3-14-2-1 植生工に準ずる。		
第1編3-14-2-2 植生工に準ずる。		

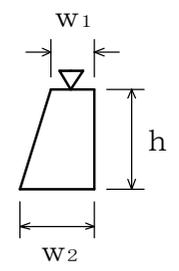
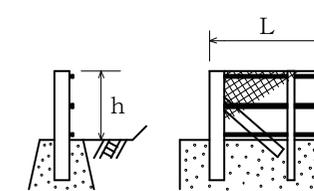
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治山編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	2		区画線工		
18 治山編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	4		視線誘導標		
18 治山編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	5		木製構造物工	延 長 L	-100
						幅（厚さ） w1, w2	-50
						のり勾配	±0.5分
						高 さ h	-100

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第1編3-3-9区画線工に準ずる。		
第1編3-3-10道路付属物工に準ずる。		
施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治山編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	10	1	鉄線籠工 (ふとんかご工)	高 さ h	-100
						延 長 L_1, L_2	-200
						幅 (厚さ) w	-50
18 治山編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	10	2	鉄線籠工 (じゃかご工)	法長 l	$l < 3\text{ m}$ -50
							$l \geq 3\text{ m}$ -100
						厚 さ t	-50
18 治山編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	11		管きよ工 (ヒューム管) (PC管) (コルゲートパイプ) (ダクタイル鋳鉄管)		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		
施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		
第19編 2-6-7 プレキャストカルバート工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治山 編	1 森林 整備 工事 の適 用	5 一般 施工	12		枠工 (鉄筋コンクリート方 枠) (片法枠工) (鋼製枠工)	基 準 高 ∇	±50
						幅 w	-30
						高 さ h	-50
						延 長 L	-200
						のり勾配	±0.2分
18 治山 編	1 森林 整備 工事 の適 用	5 一般 施工	13		鋼製柵工	高 さ h	±30
						延 長 L	-200
18 治山 編	1 森林 整備 工事 の適 用	5 一般 施工	14		金網張工	幅 w	-200
						延 長 L	-200

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p>		
<p>施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p> <p>1 施工箇所毎</p>		
<p>1 施工箇所毎</p>		

出来形管理基準（治山林道編）

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18	治山編	1 森林整備 工事の適用	5 一般施工	16	1	土留・仮締切・土のう工 (H鋼杭) (鋼矢板)	
18	治山編	1 森林整備 工事の適用	5 一般施工	16	2	土留・仮締切・土のう工 (アンカー工)	
18	治山編	1 森林整備 工事の適用	5 一般施工	16	3	土留・仮締切・土のう工 (連節ブロック張り工)	
18	治山編	1 森林整備 工事の適用	5 一般施工	16	4	土留・仮締切・土のう工 (締切盛土)	
18	治山編	1 森林整備 工事の適用	5 一般施工	16	5	土留・仮締切・土のう工 (中詰盛土)	

測 定 基 準	測 定 箇 所	単 位 mm
第1編3-10-5-1 土留・仮締切工 に準ずる。		
第1編3-10-5-2 土留・仮締切工 に準ずる。		
第1編3-10-5-3 土留・仮締切工 に準ずる。		
第1編3-10-5-4 土留・仮締切工 に準ずる。		
第1編3-10-5-5 土留・仮締切工 に準ずる。		

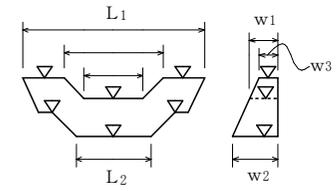
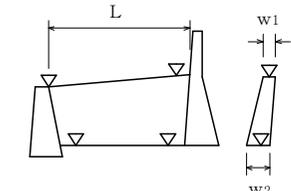
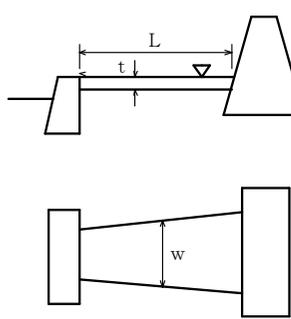
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
18 治山編	1 森林整備工事の適用	6 土工	2 一般土工		掘削工、切土工	基準高 ▽	±50	
						法長 ℓ	ℓ < 5 m	-200
							ℓ ≥ 5 m	法長 - 4 %
						延長	-200	
						のり勾配	±5 厘	
18 治山編	1 森林整備工事の適用	6 土工	3 一般土工		盛土工、埋戻し	基準高 ▽	-50	
						法長 ℓ	ℓ < 5 m	-100
							ℓ ≥ 5 m	法長 - 2 %
						幅 w ₁ , w ₂	-100	
						延長	-200	
						のり勾配	±5 厘	

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 基準高は掘削部の両端で測定。</p>		
<p>施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 基準高は各法肩で測定。</p>		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治山編	2 溪間工	3 工場製作工	3		鋼製ダム製作工 (仮組立時)		
18 治山編	2 溪間工	3 工場製作工	4		鋼製ダム仮設材製作工	部	±3…… ℓ ≤ 10 ±4…… ℓ > 10
						材	
18 治山編	2 溪間工	3 工場製作工	5		工場塗装工		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第1編3-12-3-3桁製作工（鋼製えん堤製作工（仮組立時））に準ずる。		
図面の寸法表示箇所にて測定。		
第1編3-12-11 工場塗装工に準ずる。		

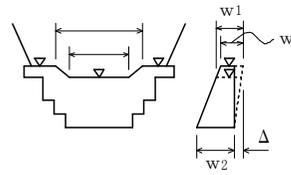
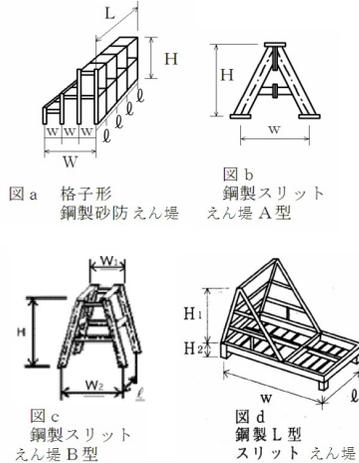
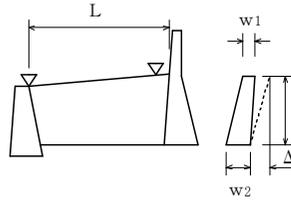
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治山 編	2 溪間 工	4 コン クリ ート ダム 工	3 4		コンクリートダム本体工 コンクリート副ダム工	基 準 高 ∇	± 30
						天端部 堤 幅 w_1, w_3 w_2	-30
						水通しの幅 l_1, l_2	± 50
						堤 長 L_1, L_2	-100
						のり勾配	± 0.2 分
18 治山 編	2 溪間 工	4 コン クリ ート ダム 工	5 6		コンクリート側壁工 間詰工	基 準 高 ∇	± 30
						幅 w_1, w_2	-30
						長 さ L	-100
						のり勾配	± 0.2 分
18 治山 編	2 溪間 工	4 コン クリ ート ダム 工	7		水叩工	基 準 高 ∇	± 30
						幅 w	-100
						厚 さ t	-30
						延 長 L	-100

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
		
<p>図面の表示箇所を測定。</p> <p>1. 図面の寸法表示箇所を測定。 2. 上記以外の測定箇所の標準は、天端幅・天端高で各測点及びジョイント毎に測定。 3. 長さは、天端中心線の水平延長、又は、測点にを測定直角な水平延長。</p>		
<p>基準高、幅、延長は図面に表示してある箇所を測定。 厚さは目地及びその中間点で測定。</p>		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治山編	2 溪間工	5 木製ダム工	4		木製ダム工本体工	基準高 ▽	±50
						堤 長 L	±100
						幅 w_1, w_3	-50
						のり勾配	±0.5分
18 治山編	2 溪間工	5 木製ダム工	5		木製側壁工	基準高 ▽	±50
						幅 w_1, w_2	-50
						延 長 L	-100
						のり勾配	±0.2分
18 治山編	2 溪間工	5 木製ダム工	6 7		間詰工 水叩工	基準高 ▽	±50
						幅 w_1, w_2	-50
						延 長 L	-100

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
図面の表示箇所にて測定。		
<p>1. 図面の寸法表示箇所を測定。</p> <p>2. 上記以外の測定箇所の標準は、天端幅・天端高で各測点及びジョイント毎に測定。</p> <p>3. 長さは、天端中心線の水平延長、又は、測点にて測定直角な水平延長。</p>		
基準高、幅、延長は図面に表示してある箇所にて測定。 厚さは目地及びその中間点にて測定。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
18 治山 編	2 溪間 工	6 鋼製 ダム 工	4		鋼製ダム本體工 (不透過型)	水 通 し 部	堤 高 ▽	±50
							長 さ ℓ	±100
							幅 w ₁ , w ₃	±50
							の り 勾 配	±0.2分
						袖 部	袖 高 ▽	±50
							幅 w ₂	±50
の り 勾 配	±0.2分							
18 治山 編	2 溪間 工	6 鋼製 ダム 工	4		鋼製ダム本體工 (透過型)	堤長 L (m) 格	±50	
						堤長 ℓ (m) 格・B・L	±10	
						堤幅 W (m) 格	±30	
						堤幅 w (m) 格・B・L	±10	
						堤幅 w (m) A	±10	
						高さ H (m) 格・B・L	±10	
						高さ H (m) A	±10	
18 治山 編	2 溪間 工	6 鋼製 ダム 工	5		鋼製側壁工	堤 高 ▽	±50	
						長 さ L	±100	
						幅 w ₁ , w ₂	±50	
						の り 勾 配	±0.2分	
						高 さ h	h < 3 m	-50
							h ≥ 3 m	-100

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>1. 図面の表示箇所にて測定する。 2. ダブルウォール構造の場合は、堤高、幅、袖高は+の規格値は適用しない。</p>		
<p>測定項目の格, A, Bはそれぞれ 格: 格子形鋼製砂防えん堤 A: 鋼製スリットえん堤 A型 B: 鋼製スリットえん堤 B型 L: 鋼製L型スリット を表している。</p>		
<p>1. 図面に表示してある箇所にて測定。 2. ダブルウォール構造の場合は、堤高、幅、袖高は+の規格値は適用しない。</p>		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治山編	2 溪間工	6 鋼製ダム工	6 7		コンクリート側壁工 間詰工		
18 治山編	2 溪間工	6 鋼製ダム工	8		水叩工		
18 治山編	2 溪間工	6 鋼製ダム工	9		現場塗装工		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第18編2-4-5, 6 コンクリート側壁工・間詰工に準ずる。		
第18編2-4-7 水叩工に準ずる。		
第1編3-3-31 現場塗装工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治山編	2 溪間工	7 護岸工	3	1	コンクリート工		
18 治山編	2 溪間工	7 護岸工	3	2	木製枠工		
18 治山編	2 溪間工	7 護岸工	3	3	鋼製枠工		
18 治山編	2 溪間工	7 護岸工	3	4	コンクリートブロック工		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第18編2-4-5コンクリート側壁工に準ずる。		
第18編2-5-5木製側壁工に準ずる。		
第18編2-6-5鋼製側壁工に準ずる。		
第1編3-5-3コンクリートブロック工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治山編	2 溪間工	7 護岸工	4	1	根固工		
18 治山編	2 溪間工	7 護岸工	4	2	沈床工		
18 治山編	2 溪間工	7 護岸工	5	1	かご工 (じゃかご工)		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第1編3-3-17 根固めブロック工に準ずる。		
第1編3-3-18 沈床工に準ずる。		
第18編1-5-10-2 鉄線籠工（じゃかご工）に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治山編	2 溪間工	7 護岸工	5		かご工 (ふとんかご工)		
18 治山編	2 溪間工	8 水制工	1		水制工		
18 治山編	2 溪間工	9 流路工	1		流路工		
18 治山編	2 溪間工	10 異形コンクリートブロック工	1		異形ブロック製作	型枠形状寸法	観察
						ブロック外観	観察
					異形コンクリートブロック据付		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第18編1-5-10-1鉄線籠工(ふとんかご工)に準ずる。		
第18編第2章第7節護岸工に準ずる。		
第18編第2章第7節護岸工に準ずる。		
型枠搬入後適宜		
全数		
第1編3-3-17根固めブロック工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治 山 編	3 山 腹 工	3 法 面 工	2		植生工		
18 治 山 編	3 山 腹 工	3 法 面 工	3		吹付工		
18 治 山 編	3 山 腹 工	3 法 面 工	4		法枠工		
18 治 山 編	3 山 腹 工	3 法 面 工	5	1	かご工 (じゃかご工)		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第1編3-14-2植生工に準ずる。		
第1編3-14-3吹付工に準ずる。		
第1編3-14-4法枠工に準ずる。		
第18編1-5-10-2鉄線籠工(じゃかご工)に準ずる。		

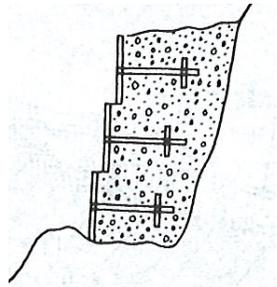
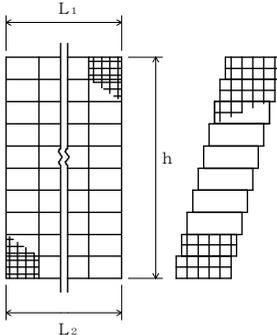
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治 山 編	3 山 腹 工	3 法 面 工	5	2	かご工 (ふとんかご工)		
18 治 山 編	3 山 腹 工	4 法 切 工	2		法切工		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第 18 編 1-5-10-1 鉄線籠工（ふとんかご工）に準ずる。		
第 18 編 1-6-2 掘削工、切土工に準ずる。		

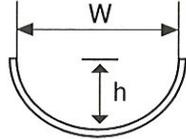
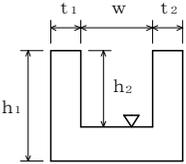
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
18 治 山 編	3 山 腹 工	5 土 留 工	3 4		コンクリート土留工 鉄筋コンクリート土留工	基 準 高 ∇	± 50	
						厚 さ t	-20	
						裏 込 厚 さ	-50	
						幅 w_1, w_2	-30	
						高 さ h	$h < 3\text{ m}$	-50
							$h \geq 3\text{ m}$	-100
						延 長 L	-200	
						の り 勾 配	$\pm 0.2\text{ 分}$	
18 治 山 編	3 山 腹 工	5 土 留 工	5		石積土留工 コンクリートブロック 積土留工			

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p>		
1 施工箇所毎		
第1編3-5-3-1 コンクリートブロック工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18	3	5	6		丸太積土留工		
18	3	5	7		コンクリート板土留工	基 準 高 ∇	± 50
						高 さ h	-50
						延 長 L	-100
18	3	5	8		鋼製枠土留工		
18	3	5	9		土のう積土留工	高 さ h	-100
						延 長 L_1, L_2	-200
						幅 (厚さ) w	-50
						の り 勾 配	± 0.5 分

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第18編1-5-5木製構造物工に準ずる。		
施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。 1施工箇所毎		
第18編1-5-12鋼製枠工に準ずる。		
		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治 山 編	3 山 腹 工	7 暗 き よ 工	2		礫暗きよ工 鉄線籠暗きよ工 二次製品暗きよ工		
			3				
			4				
18 治 山 編	3 山 腹 工	7 暗 き よ 工	5		ボーリング暗きよ工		
18 治 山 編	3 山 腹 工	8 水 路 工	2		張芝水路工 練張及び空張水路工 丸太柵及び編柵水路工 土のう等緑化二次製品 水路工	幅 w	-100
			3			高 さ h	-50
			5 6			延 長 L	-200
18 治 山 編	3 山 腹 工	8 水 路 工	4		鋼製及びコンクリート 二次製品水路工	基 準 高 ∇	± 30
						厚 さ t_1, t_2	-20
						幅 w	-30
						高 さ h_1, h_2	-30
						延 長 L	-200

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第1編3-3-29-3暗渠工に準ずる。		
第18編4-4-1ボーリング暗きよ工に準ずる。		
施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		
施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。（なお製品使用の場合は、製品寸法は、規格証明書等による）		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
18	3	8	7		集水柵工			
18	3	9	2	3	編柵工 木柵及び丸太柵工 コンクリート板柵工 鋼製及び合成樹脂二次 製品柵工	延長・	< 10 m	-200
							≥ 10 m	-2%
						柵 高 h	-30	
						杭 の 使 用 本 数	・ / ・ $o_0 + 1$ 以上	
						杭 間 隔 $\cdot o$	+200	
						杭の末口径 D	-10%	
18	3	10	1		階段切付工			

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第1編3-3-30集水柵工に準ずる。		
延長は全箇所 柵高、杭間隔、杭径については、杭数の10%程度について検測する。 ただし、杭の使用本数は全数とする		
第18編1-6-2掘削工、切土工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治 山 編	3 山 腹 工	11 筋 工	2 3 4 5		石筋工	高 さ h	-50
						延 長 L	-100
						幅 w	-50
						の り 勾 配	±0.5分
			萱筋工	高 さ h	-50		
				延 長 L	-100		
				幅 w	-50		
			丸太筋工				
			その他緑化二次製品を用いた筋工	高 さ h	-50		
				延 長 L	-100		
				幅 w	-50		
				の り 勾 配	±0.5分		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
延長は全箇所 施工延長 40m につき 1 箇所、延長 40m 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所		
延長は全箇所 施工延長 40m につき 1 箇所、延長 40m 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所		
第 18 編 3 - 9 柵工に準ずる。		
延長は全箇所 施工延長 40m につき 1 箇所、延長 40m 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所 (製品寸法は、規格証明書等による)		

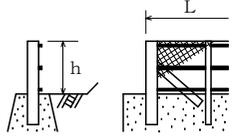
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値	
18 治山 編	3 山 腹 工	12 伏 工	2 3 4 5		わら伏工 むしろ伏工 網伏工 その他二次製品を用いた伏工	法 長	SL < 5 m	-200	
							SL ≥ 5 m	-4%	
						延 長 L		-200	
						植 被 率		70%以上	
18 治山 編	3 山 腹 工	13 実 播 工	2 3 4		筋実播工 斜面実播工 航空実播工				
18 治山 編	3 山 腹 工	14 吹 付 工	2 3		種子吹付工A 種子吹付工B				
18 治山 編	3 山 腹 工	15 植 栽 工	2 3 4		植栽工 (正方形植栽等)	植栽本数(本)	設計数値以上		
							植栽列間苗間隔	±200 ※根株等の障害物がある場合は除く	
								苗木規格	設計数値以上
							植付け穴	-50	
							植栽面積	-0.15%	

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
		第1編3-14-2植生工に準ずる。
		第1編3-14-2植生工に準ずる。
<ul style="list-style-type: none"> 標準地を設定：100 m²(10m×10m)を標準 1ha未満 標準地2箇所以上 1ha以上5ha未満 標準地3箇所以上 5ha以上は5haを超える毎に1箇所 [例：24ha=3+(24-5)÷5≒7箇所] 周囲測量図面に測定位置を記載する。 		
標準地毎に2箇所		
標準地毎に2箇所		
標準地毎に2箇所		
周囲測量		

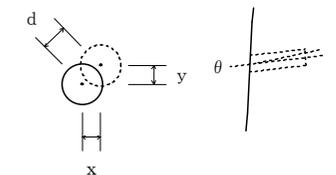
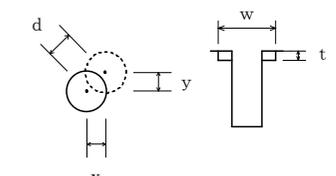
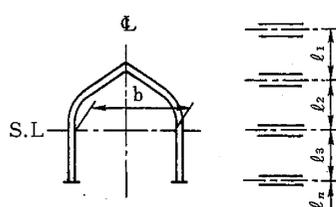
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治 山 編	3 山 腹 工	15 植 栽 工	2 3 4		植栽工 (並木植え等)	植栽本数 (本)	設計数値以上
						植栽列間苗間隔	±200 ※根株等の障 害物がある 場合は除く
						苗木規格	設計数値以上
						植付け穴	-50
						植栽面積	-0.15%
					追肥	施肥面積	-0.15%
						施肥量	設計数値以上
					補植	補植面積	-0.15%
						補植本数 (本)	設計数値以上

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高中木（樹種毎） 200本未満:5% 500本未満:4% 500本以上:3% ・ 低木（樹種毎） 200本未満:3% 1000本未満:1.5% 1000本以上:0.8% ・ 周囲測量図面に測定位置を記載する。 		
標準地毎に2箇所		
標準地毎に2箇所		
標準地毎に2箇所		
周囲測量		
周囲測量		
空袋数		
周囲測量		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 標準地を設定：100㎡(10m×10m)を標準 1ha未満 標準地2箇所以上 1ha以上5ha未満 標準地3箇所以上 5ha以上は5haを超える毎に1箇所 [例：24ha=3+(24-5)÷5≒7箇所] ・ 周囲測量図面に測定位置を記載する。 		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治 山 編	3 山 腹 工	16 補 強 土 壁 工	1		補強土壁工 (補強土(テールアル メ)壁工法) (多数アンカー式補強 土工法) (ジオテキスタイルを 用いた補強土工法)		
18 治 山 編	3 山 腹 工	17 落 石 防 止 工	3 4 6		鋼製落石防止壁工 落石防護柵工 落石防護土留工	高 さ h	±30
						延 長 L	-200
18 治 山 編	3 山 腹 工	17 落 石 防 止 工	5 7		落石防護網工 固定工(ロープ伏工)	幅 W	-200
						延 長 L	-200

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第1編3-15-3補強土壁工に準ずる。		
施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。		
1施工箇所毎		
1施工箇所毎		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治山編	4 地すべり防止工	4 ボーリング暗きょ工	1		ボーリング暗きょ工	削孔深さ l	設計値以上
						配置誤差 d	100
						せん孔方向 θ	± 2.5 度
18 治山編	4 地すべり防止工	5 集水井工	3		集水井工	基準高 ∇	± 50
						偏心量 d	150
						長さ L	-100
						巻立て幅 w	-50
						巻立て厚さ t	-30
18 治山編	4 地すべり防止工	6 排水トンネル工	3		支保工	設置間隔	± 75
						幅 b (B タイプ)	-0
						幅 b (C・D タイプ)	-40

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
全数	 $d = \sqrt{x^2 + y^2}$	
全数測定。 偏心量は、杭頭と底面の差を測定。	 $d = \sqrt{x^2 + y^2}$	
間隔、幅は、全基数について測定する。 支保工幅の測定時期は、原則として建込み直後及び覆工前の2回とする。		

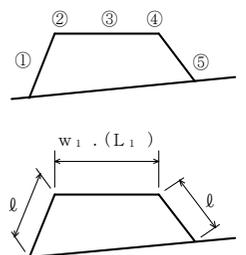
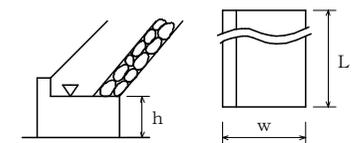
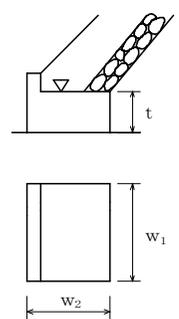
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治山編	4 地すべり防止工	6 排水トンネル工	5		覆工	基準高 ∇	± 50
						幅 W	-0
						厚 さ t	-40
						高 さ h	-40
					中心線のズレ	直線部	± 100
						曲線部	± 150
					施工延長	150m未満	-150
150m以上	-0.1%						
18 治山編	4 地すべり防止工	7 排土及び押え盛土	2 3		排土工		
					押え盛土工		
18 治山編	4 地すべり防止工	8 杭工	2		鋼管杭 合成杭		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>1. 基準高、厚さ、幅、高さについては、1スパンにつき1箇所割合で測定する。</p> <p>2. 巻厚 (1) コンクリート打設前の巻立空間を1スパンの終点において図に示す①～⑩の各点で測定する。 (2) コンクリート打設後の覆工コンクリートについて1スパンの端部（施工継目）において図に示す①～⑩の各点で測定する。 (3) 削孔による巻厚の測定は、図の①において50mにつき1箇所、②③④において100mにつき1箇所の割合で行う。 ただしmトンネル延長が100m未満のものについては2箇所以上の以上の削孔を行い巻厚測定を行う。</p> <p>3. 中心線のズレ 直線部は50mにつき1箇所、曲線部は1スパンにつき1箇所割合で測定する。</p>		
第18編1-6-2掘削工、切土工に準ずる。		
第18編1-6-3盛土工、埋戻しに準ずる。		
第1編3-4-4既製杭工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治山編	4 地すべり防止工	9 シャフト工（深礎工）	1		シャフト工（深礎工）		
18 治山編	4 地すべり防止工	10 アンカー工	2		アンカー工		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第1編3-4-6深礎工に準ずる。		
第1編3-14-6アンカー工に準ずる。		

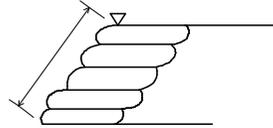
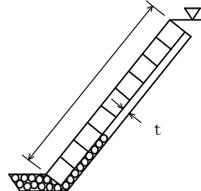
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
18 治山編	5 海岸 防災 林造成	4 護岸 基礎 工	4		捨石工	基 準	本 均 し	±50
						表 面 均 し	±100	
						荒 均 し	異形ブロック据付面 (乱積) の高さ	±500
							異形ブロック据付面 (乱積) 以外の高さ	±300
						被 覆 均 し	異形ブロック据付面 (乱積) の高さ	±500
							異形ブロック据付面 (乱積) 以外の高さ	±300
						法 長 l	-100	
						天 端 幅 w_1	-100	
天 端 延 長 L_1	-200							
18 治山編	5 海岸 防災 林造成	4 護岸 基礎 工	5		場所打コンクリート 工	基 準 高 ∇	±30	
						幅 w	-30	
						高 さ h	-30	
						延 長 L	-200	
18 治山編	5 海岸 防災 林造成	4 護岸 基礎 工	6		海岸コンクリートブ ロック工	基 準 高 ∇	±50	
						ブロック厚 t	-20	
						ブロック縦幅 w_1	-20	
						ブロック横幅 w_2	-20	
						延 長 L	-200	

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>施工延長 10mにつき、1 測点当たり 5 点以上測定。</p>  <p>幅は施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所、延長はセンターライン及び表裏法肩。</p>		
<p>施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p> 		
<p>ブロック個数 40 個につき 1 箇所の割で測定。基準高、延長は施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p> 		

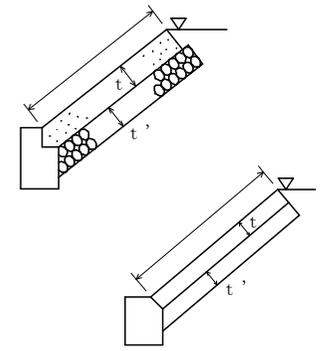
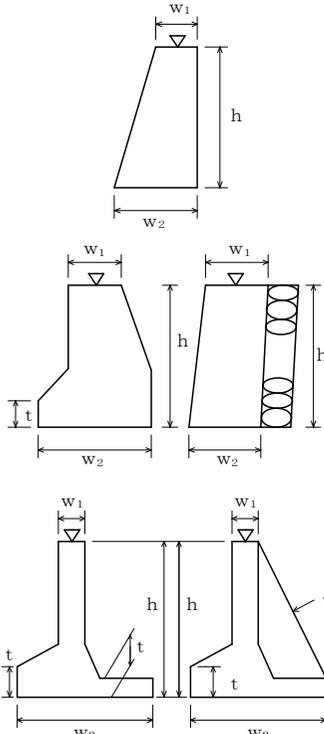
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治山編	5 海岸防 災林造 成	4 護岸基 礎工	7	1	笠コンクリート工		
18 治山編	5 海岸防 災林造 成	4 護岸基 礎工	7	2	笠コンクリート工 (プレキャスト笠コン クリート)		
18 治山編	5 海岸防 災林造 成	4 護岸基 礎工	8	1	基礎工		
18 治山編	5 海岸防 災林造 成	4 海岸基 礎工	8	2	基礎工 (プレキャスト基礎工)		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第1編3-4-3法留基礎工に準ず る。		

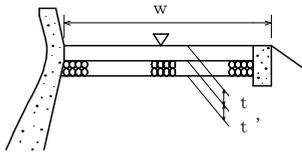
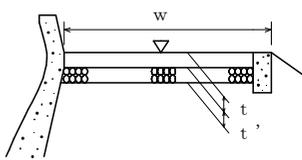
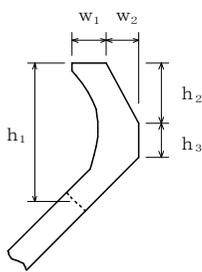
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
18	5	4	9		矢板工			
18	5	5	3		捨石張り工	基 準 高 ∇	± 50	
						法 長 l	$l < 3\text{ m}$	-50
							$l \geq 3\text{ m}$	-100
						延 長 L	-200	
18	5	5	4		石張り・石積み工			
18	5	5	5		海岸コンクリートブロック工	基 準 高 ∇	± 50	
						法 長 l	$l < 5\text{ m}$	-100
							$l \geq 5\text{ m}$	$l \times (-2\%)$
						厚 さ t	-50	
						延 長 L	-200	

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第1編3-3-4矢板工に準ずる。		
施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		
第1編3-5-5石積（張）工に準ずる。		
施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		

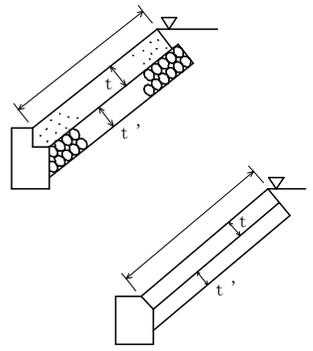
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
18 治山 編	5 海 岸 防 災 林 造 成	5 護 岸 工	6		コンクリート被覆工	基 準 高 ∇	± 50	
						法 長 l	$l < 3\text{ m}$	-50
							$l \geq 3\text{ m}$	-100
						厚 さ t	$t < 100$	-20
							$t \geq 100$	-30
						裏 込 材 厚 t'	-50	
						延 長 L	-200	
2 治山 編	5 海 岸 防 災 林 造 成	5 護 岸 工	7		現場打擁壁工	基 準 高 ∇	± 50	
						厚 さ t	-20	
						裏 込 厚 さ	-50	
						幅 w_1, w_2	-30	
						高 さ h	$h < 3\text{ m}$	-50
							$h \geq 3\text{ m}$	-100
						延 長 L	-200	

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p> 		
<p>施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p> <p>1 施工箇所毎</p> 		

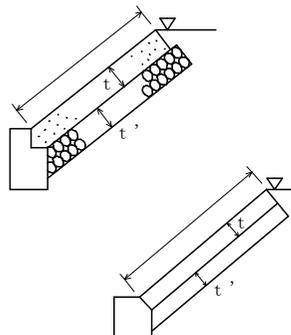
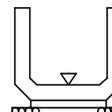
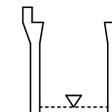
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治山編	5 海岸防 災林造 成	6 天端被 覆工	2		コンクリート被覆工	基 準 高 ∇	± 50
						幅 w	-50
						厚 さ t	-10
						基 礎 厚 t'	-45
						延 長 L	-200
18 治山編	5 海岸防 災林造 成	6 天端被 覆工	3		アスファルト被覆工	基 準 高 ∇	± 50
						幅 w	-50
						厚 さ t	-9
						基 礎 厚 t'	-45
						延 長 L	-200
18 治山編	5 海岸防 災林造 成	7 波返工	3		波返工	基 準 高 ∇	± 50
						幅 w_1, w_2	-30
						高さ $h < 3m$ h_1, h_2, h_3	-50
						高さ $h \geq 3m$ h_1, h_2, h_3	-100
						延 長 L	-200
18 治山編	5 海岸防 災林造 成	8 裏法被 覆工	2		石積（張）工		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p>		
<p>施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 厚さはコア-1000 m²に 1 箇所</p>		
<p>施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p>		
<p>第 1 編 3-5-5 石積（張）工に準ずる。</p>		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
18	5	8	3	1	コンクリートブロック工 (コンクリートブロック張り) (コンクリートブロック積み)			
18	5	8	3	2	コンクリートブロック工 (連節ブロック張り)			
18	5	8	4		コンクリート被覆工	基 準 高 ∇	± 50	
						法 長 l	$l < 3\text{ m}$	-50
							$l \geq 3\text{ m}$	-100
						厚 さ t	$t < 100$	-20
							$t \geq 100$	-30
						裏 込 材 厚 t'	-50	
						延 長 L	-200	

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第1編3-5-3コンクリートブロック工に準ずる。		
第1編3-5-3コンクリートブロック工に準ずる。		
施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		

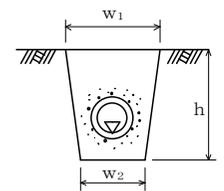
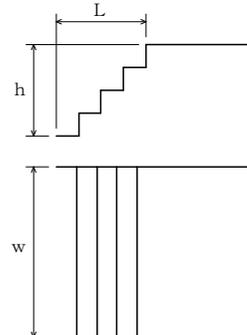
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
18 治山編	5 海岸林造成	8 裏法被覆工	5		アスファルト被覆工	基準高▽	±50	
						法長 l	$l < 3\text{ m}$	-50
							$l \geq 3\text{ m}$	-100
						厚さ t	$t < 100$	-20
							$t \geq 100$	-30
						裏込材厚 t'	-50	
						延長 L	-200	
18 治山編	5 海岸林造成	8 裏法被覆工	6		法枠工 (現場打法枠工) (プレキャスト法枠工) (現場吹付法枠工)			
18 治山編	5 海岸林造成	9 排水構造物工	3	1	側溝工 (プレキャストU型側溝)	基準高▽	±30	
						延長 L	-200	
18 治山編	5 海岸林造成	9 排水構造物工	3	2	側溝工 (自由勾配側溝)	基準高▽	±30	
						延長 L	-200	

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p> 		
<p>第 1 編 3-14-4 法枠工に準ずる。</p>		
<p>施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p> <p>1 施工箇所毎</p> 		
<p>施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p> <p>1 施工箇所毎</p> 		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治山編	5 海岸林造成	9 排水構造物工	4		集水桝工	基準高 ∇	± 30
						※厚さ $t_1 \sim t_5$	-20
						※幅 w_1, w_2	-30
						※高さ h_1, h_2	-30
18 治山編	5 海岸林造成	9 排水構造物工	5		堤脚水路工	基準高 ∇	± 30
						厚さ t_1, t_2	-20
						幅 w	-30
						高さ h_1, h_2	-30
						延長 L	-200
18 治山編	5 海岸林造成	9 排水構造物工	6	1	管渠工 (プレキャストパイプ) (プレキャストボックス)	基準高 ∇	± 30
						※幅 w	-50
						※高さ h	-30
						延長 L	-200

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
1 箇所毎 ※は現場打部分のある場合		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 なお、製品使用の場合は、製品寸法については規格証明書等による。		
1 施工箇所毎		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 ※印は現場打部分のある場合		
1 施工箇所毎		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治山編	5 海岸林造成	9 排水構造物工	6	2	管渠工 (コルゲートパイプ) (ダクタイル鋳鉄管)	基準高 ∇	± 30
						幅 w_1, w_2	-50
						高さ h	-30
						延長 L	-200
18 治山編	5 海岸林造成	10 付属物設置工	4		階段工	幅 w	-30
						高さ h	-30
						長さ L	-30
						段 数	± 0 段
18 治山編	5 海岸林造成	10 付属物設置工	5		防止柵工		
18 治山編	5 海岸林造成	11 付帯道路工	4	1	アスファルト舗装工 (下層路盤)		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p> <p>1 施工箇所毎</p>		
<p>1 回 / 1 施工箇所</p>		
<p>第 1 編 3-3-7 防止柵工に準ずる。</p>		
<p>第 1 編 3-6-7-1 下層路盤工に準ずる。</p>		

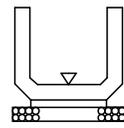
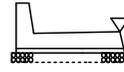
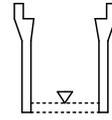
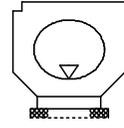
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治山編	5 海岸林造成	11 付帯道路工	4	2	アスファルト舗装工 (上層路盤)		
18 治山編	5 海岸林造成	11 付帯道路工	4	3	アスファルト舗装工 (基層)		
18 治山編	5 海岸林造成	11 付帯道路工	4	4	アスファルト舗装工 (表層)		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第1編3-6-7-2上層路盤工に準ずる。		
第1編3-6-7-5基層工に準ずる。		
第1編3-6-7-6表層工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治山編	5 海岸林造成	11 付帯道路工	5	1	コンクリート舗装工 (下層路盤)		
18 治山編	5 海岸林造成	11 付帯道路工	5	2	コンクリート舗装工 (上層路盤)		
18 治山編	5 海岸林造成	11 付帯道路工	5	3	コンクリート舗装工 (コンクリート舗装)		
18 治山編	5 海岸林造成	11 付帯道路工	6	1	薄層カラー舗装工		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第1編3-6-12-1 下層路盤工に準ずる。		
第1編3-6-12-2 粒度調整路盤工に準ずる。		
第1編3-6-12-5 コンクリート舗装版工に準ずる。		
第1編3-6-13 薄層カラー舗装工に準ずる。		

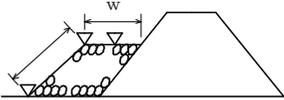
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治山編	5 海岸林造成	11 付帯道路工	7	1	側溝工 (プレキャストU型側溝)	基準高 ▽	±30
						延長 L	-200
18 治山編	5 海岸林造成	11 付帯道路工	7	2	側溝工 (L型側溝)	基準高 ▽	±30
						延長 L	-200
18 治山編	5 海岸林造成	11 付帯道路工	7	3	側溝工 (自由勾配側溝)	基準高 ▽	±30
						延長 L	-200
18 治山編	5 海岸林造成	11 付帯道路工	7	4	側溝工 (管渠)	基準高 ▽	±30
						延長 L	-200

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治山編	5 海岸林造成	11 付帯道路工	8		集水桝工	基準高 ∇	± 30
						※厚さ $t_1 \sim t_5$	-20
						※幅 w_1, w_2	-30
						※高さ h_1, h_2	-30
18 治山編	5 海岸林造成	11 付帯道路工	9		縁石工		
18 治山編	5 海岸林造成	11 付帯道路工	10		小型標識工		
18 治山編	5 海岸林造成	11 付帯道路工	11		路側防護柵工		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
1 箇所毎 ※は現場打部分のある場合		
第1編3-3-5縁石工に準ずる。		
第1編3-3-6小型標識工に準ずる。		
第1編3-3-8路側防護柵工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
18	5	11	12		区画線工			
18	5	11	14		道路付属物工			
18	5	12	2		捨石工（根固め工）	基準 高 ▽	異形ブロック据付面 （乱積）の高さ	±500
							異形ブロック据付面 （乱積）以外の高さ	±300
						法 長 l		-100
						天 端 幅 w		-100
						天 端 延 長 L		-200

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第1編3-3-9区画線工に準ずる。		
第1編3-3-10道路付属物工に準ずる。		
<p>施工延長10mにつき、1測点当たり5点以上測定。</p> <p>幅は施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所、延長はセンターライン及び表裏法肩。</p>		

編	章	節	条	枝番		測定項目	規格値							
18 治山編	5 海岸林造成	12 根固め工	3		根固めブロック工	基準高▽	層積	±300						
							乱積	± t / 2						
							厚さ t	-20						
						幅 w ₁ w ₂	層積	-20						
							乱積	- t / 2						
						延長 L ₁ L ₂	層積	-200						
							乱積	- t / 2						
						18 治山編	5 海岸林造成	13 消波工	2		捨石工（消波工）	基準高▽	異形ブロック据付面（乱積）の高さ	±500
													異形ブロック据付面（乱積）以外の高さ	±300
												法長 ℓ	-100	
天端幅 w	-100													
天端延長 L	-200													
18 治山編	5 海岸林造成	13 消波工	3		消波ブロック工							基準高▽	層積	±300
						乱積	± t / 2							
						厚さ t	-20							
						幅 w ₁ , w ₂	-20							
						延長 L ₁ , L ₂	-200							

測定基準	測定箇所	摘要
<p>施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p> <p>幅、厚さは 40 個につき 1 箇所測定。</p> <p>1 施工箇所毎</p>		
<p>施工延長 10mにつき、1 測点当たり 5 点以上測定。</p> <p>幅は施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所、延長はセンターライン及び表裏法肩。</p>		
<p>施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所。延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p> <p>幅、厚さは 40 個につき 1 箇所測定。</p>		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治山編	5 海岸林造成	14 砂丘造成	1		堆砂工 (堆砂垣・丘頂柵工)		
18 治山編	5 海岸林造成	14 砂丘造成	2		盛土工		
18 治山編	5 海岸林造成	14 砂丘造成	3		覆砂工 (伏工・砂草植栽)		
18 治山編	5 海岸林造成	14 砂丘造成	4		実播工		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第18編第3章第9節柵工に準ずる。		
第1編4-3-3盛土工に準ずる。		
第18編第3章第12節伏工に準ずる。		
第18編第3章第13節実播工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治山編	5 海岸林造成	15 森林造成	1 3		防風工 静砂工（静砂垣）	高 さ H	-30
						延 長 L	-2.0%
18 治山編	5 海岸林造成	15 森林造成	2		排水工		
18 治山編	5 海岸林造成	15 森林造成	4		植栽工		
18 治山編	5 海岸林造成	16 防風林の造成	1		防風柵		
18 治山編	5 海岸林造成	16 防風林の造成	2		水路工		
18 治山編	5 海岸林造成	16 防風林の造成	2		暗きよ工		
18 治山編	5 海岸林造成	16 防風林の造成	3		植栽工		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長40mにつき1箇所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2箇所 延長は全箇所 （製品寸法は、規格証明書等による）		
第18編第3章第8節水路工に準ずる。		
第18編第3章第15節植栽工に準ずる。		
第18編第3章第9節柵工に準ずる。		
第18編第3章第8節水路工に準ずる。		
第18編第3章第7節暗きよ工に準ずる。		
第18編第3章第15節植栽工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
18 治山編	5 海岸 防災 林造 成	17 異形 コン クリ ート ブロ ック 工	1 2		異形コンクリートブ ロック工			
18 治山編	6 なだ れ防 止林 造 成	5 雪 び予 防工	1		吹きだめ柵 吹き払い柵	高 さ h	±30	
						延 長 L		-200
						基礎	幅 w ₁ , w ₂	-30
							高 さ h	-30
18 治山編	6 なだ れ防 止林 造 成	6 なだ れ予 防工	1		階段工			

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第 18 編第 2 章第 10 節異形コンクリ ートブロック工に準ずる。		
施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1 箇所、施工延長 40m（又 は 50m）以下のものは 1 施工箇所につ き 2 箇所。		
1 施工箇所毎		
基礎 1 基毎		
第 18 編 1 - 6 - 2 掘削工、切土工に準 ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
18 治山編	6 なだれ防止林造成	6 なだれ予防工	2		予防柵 防止柵	高 さ h	±30	
						延 長 L		-200
						基礎	幅 w ₁ , w ₂	-30
							高 さ h	-30
						アンカー長 ℓ	打 込 み ℓ	-10%
							埋 込 み ℓ	-5%
18 治山編	6 なだれ防止林造成	6 なだれ予防工	3		吊柵 吊枠			
18 治山編	6 なだれ防止林造成	6 なだれ予防工	5		誘導擁壁			

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1 箇所、施工延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎 基礎 1 基毎 全数		
第 18 編 3 章 17 節 落石防止工に準ずる。		
第 18 編 第 3 第 5 節 土留工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
18 治山編	6 なだれ防止林造成	6 なだれ予防工	6		誘導柵	高 さ h	±30	
						延 長 L	-200	
						基礎	幅 w ₁ , w ₂	-30
							高 さ h	-30
18 治山編	6 なだれ防止林造成	6 なだれ予防工	7		減勢杭	杭 間 隔	±100	
						高 さ h	-100	
						根 入 長	設計値以上	
18 治山編	6 なだれ防止林造成	6 なだれ予防工	7		減勢枠工			
18 治山編	6 なだれ防止林造成	7 防護工	1		防護擁壁			

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1 箇所、施工延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎 基礎 1 基毎		
全数		
第 18 編 1-5-12 枠工（鉄筋コンクリート方格枠）に準ずる。		
第 18 編第 3 章第 5 節土留工に準ずる。		

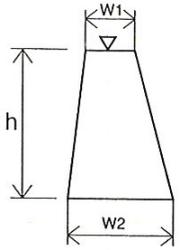
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治山編	6 なだれ防止林造成	7 防護工	2		防護柵		
18 治山編	6 なだれ防止林造成	8 グライド防止工	1		木柵階段工		
18 治山編	6 なだれ防止林造成	9 森林造成	1		植栽工		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第18編6-6-2防止柵に準ずる。		
第18編1-6-2掘削工、切土工及び第18編3-9-3木柵及び丸太柵工に準ずる。		
第18編第3章第15節植栽工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
19 林道編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	1	1	植生工 (種子吹付工) (張芝工) (筋芝工) (市松芝工) (植生シート工) (植生マット工) (種子筋工) (人工張芝工) (植生穴工)		
19 林道編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	1	2	植生工 (厚層基材吹付工) (客土吹付工)		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第1編3-14-2-1 植生工に準ずる。		
第1編3-14-2-2 植生工に準ずる。		

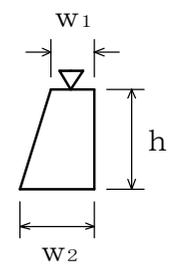
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
19 林道編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	2		区画線工		
19 林道編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	4		視線誘導標		
19 林道編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	5		木製構造物工	延 長 L	-100
						幅（厚さ） w1, w2	-50
						のり勾配	±0.5分
						高 さ h	-100

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第1編3-3-9区画線工に準ずる。		
第1編3-3-10道路付属物工に準ずる。		
施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
19 林道編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	10	1	鉄線籠工 (ふとんかご工)	高 さ h	-100
						延 長 L_1, L_2	-200
						幅 (厚さ) w	-50
19 林道編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	10	2	鉄線籠工 (じゃかご工)	法長 l	$l < 3\text{ m}$ -50
							$l \geq 3\text{ m}$ -100
						厚 さ t	-50
19 林道編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	11		管きよ工 (ヒューム管) (PC管) (コルゲートパイプ) (ダクタイル鋳鉄管)		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		
施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		
第 19 編 2-6-7 プレキャストカルバート工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
19 林道編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	12		枠工 (鉄筋コンクリート方 枠) (片法枠工) (鋼製枠工)	基 準 高 ∇	±50
						幅 w	-30
						高 さ h	-50
						延 長 L	-200
						のり勾配	±0.5分
19 林道編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	13		鋼製柵工		
19 林道編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	14		金網張工	幅 w	-200
						延 長 L	-200

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p>		
第 18 編 1 - 5 - 13 鋼製柵工に準ずる		
1 施工箇所毎		

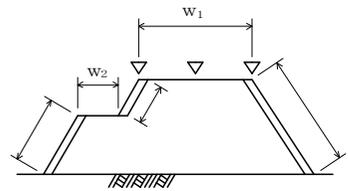
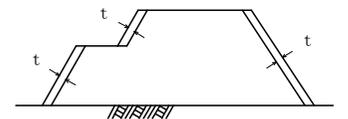
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
19 林道編	1 森林整備 工事の適用	5 一般 施工	15	1	土留・仮締切・土のう工 (H鋼杭) (鋼矢板)		
19 林道編	1 森林整備 工事の適用	5 一般 施工	15	2	土留・仮締切・土のう工 (アンカー工)		
19 林道編	1 森林整備 工事の適用	5 一般 施工	15	3	土留・仮締切・土のう工 (連節ブロック張り工)		
19 林道編	1 森林整備 工事の適用	5 一般 施工	15	4	土留・仮締切・土のう工 (締切盛土)		
19 林道編	1 森林整備 工事の適用	5 一般 施工	15	5	土留・仮締切・土のう工 (中詰盛土)		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第1編3-10-5-1 土留・仮締切工 に準ずる。		
第1編3-10-5-2 土留・仮締切工 に準ずる。		
第1編3-10-5-3 土留・仮締切工 に準ずる。		
第1編3-10-5-4 土留・仮締切工 に準ずる。		
第1編3-10-5-5 土留・仮締切工 に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
19 林道編	1 森林整備 工事の適用	6 土工	2 一般土工		掘削工、切土工	基準高 ▽	±50	
						法長 l	$l < 5\text{ m}$	-200
							$l \geq 5\text{ m}$	法長-4%
						延長	-200	
						のり勾配	±5厘	
19 林道編	1 森林整備 工事の適用	6 土工	3 一般土工		盛土工、埋戻し	基準高 ▽	-50	
						法長 l	$l < 5\text{ m}$	-100
							$l \geq 5\text{ m}$	法長-2%
						幅 w_1, w_2	-100	
						延長	-200	
						のり勾配	±5厘	
19 林道編	1 森林整備 工事の適用	6 土工	8 道路土工		掘削工、切土工	基準高 ▽	±50	
						法長 l	$l < 5\text{ m}$	-200
							$l \geq 5\text{ m}$	法長-4%
						幅 w	-100	
						のり勾配	±5厘	

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 基準高は掘削部の両端で測定。</p>		
<p>施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 基準高は各法肩で測定。</p>		
<p>施工延長 40mにつき 1箇所、延長 40m以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 基準高は、道路中心線及び端部で測定。</p>		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
19 林道編	1 森林整備 工事の適用	6 土工	9 10 道路 土工	2	盛土工 (路床、路体:舗装施工) 盛土工 (砂利施工)	基準高▽	±50	
						法長 ℓ	ℓ < 5 m	-100
							ℓ ≥ 5 m	法長-2%
						幅	w ₁ , w ₂	-100
						のり勾配		±5厘
19 林道編	1 森林整備 工事の適用	6 土工	9 10 道路 土工	3	法面整形工(盛土工)	厚 さ t	※-30	
19 林道編	1 森林整備 工事の適用	6 土工	道路土工 (共通)	4	路線、縦断	I P 測点	コンパス	±1°
							トランシット	±30'
						IP間の距離		40m ≤ ±200mm 40m > ±1/200
						各測点間距離		±100
						総延長距離		-500
						直線区間の寄り		100
						施工基面高		±100
19 林道編	1 森林整備 工事の適用	6 土工	道路土工 (共通)	5	路盤工(砂利施工)	敷 厚	-20	
						敷 幅	-50	

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>施工延長40mにつき1箇所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2箇所。 基準高は、道路中心線及び端部で測定。</p> 		
<p>施工延長40mにつき1箇所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2箇所。法の中央で測定。 ※土羽打ちのある場合に適用。</p> 		
<p>全測点を測定する。</p>		
<p>施工延長40mにつき1箇所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2箇所 平均値は設計厚以上</p>		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
19 林道編	1 森林整備工事の適用	6 土工	道路土工 (共通)	6	コンクリート路面工	敷 厚	-10
						敷 幅	-25

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
敷幅 40m につき 1ヶ所。 敷厚 500m に 1ヶ所の割合でコア 若しくは端部で測定。 ただし、1 施工箇所 で 3 箇所以上測定すること。		

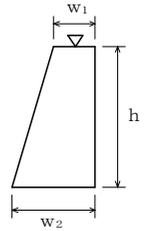
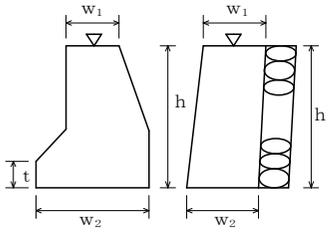
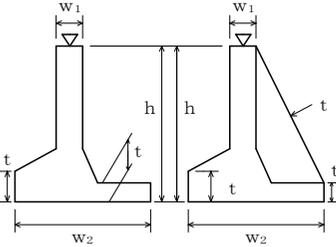
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
19 林道編	2 道路 工事	4 法 面 工	2		植生工		
19 林道編	2 道路 工事	4 法 面 工	3		法面吹付工 (コンクリート) (モルタル)		
19 林道編	2 道路 工事	4 法 面 工	4		法枠工		
19 林道編	2 道路 工事	4 法 面 工	6 8		アンカー工 アンカー工 (プレキャストコンク リート板)		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第1編3-14-2 植生工に準ずる。		
第1編3-14-3 吹付工に準ずる。		
第1編3-14-4 法枠工に準ずる。		
第1編3-14-6 アンカー工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
19 林道編	2 道路工事	4 法面工	7		かご工 (じゃかご)		
19 林道編	2 道路工事	4 法面工	7		かご工 (ふとんかご)		
19 林道編	2 道路工事	5 擁壁工	3		既製杭工		
19 林道編	2 道路工事	5 擁壁工	4		場所打杭工		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第19編1-5-10鉄線籠工(じゃかご工)に準ずる		
第19編1-5-10鉄線籠工(ふとんかご工)に準ずる		
第1編3-4-4既製杭工に準ずる。		
第1編3-4-5場所打杭工に準ずる。		

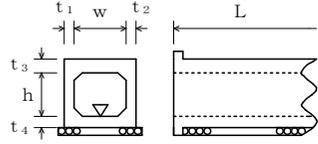
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
19 林道 編	2 道路 工事	5 擁壁 工	5		場所打擁壁工	基 準 高 ∇	± 50	
						厚 さ t	-20	
						裏 込 厚 さ	-50	
						幅 w_1, w_2	-30	
						高 さ h	$h < 3\text{m}$	-50
							$h \geq 3\text{m}$	-100
						延 長 L	-200	
	のり勾配	± 0.2 分						
19 林道 編	2 道路 工事	5 擁壁 工	6		プレキャスト擁壁工			

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p>		
1 施工箇所毎		
		
第 1 編 3-15-2 プレキャスト擁壁工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
19 林道 編	2 道路 工事	5 擁 壁 工	7		補強土壁工 （補強土（テールアル メ）壁工法） （多数アンカー式補強 土工法） （ジオテキスタイルを 用いた補強土工法）		
19 林道 編	2 道路 工事	5 擁 壁 工	8		井桁ブロック工		
19 林道 編	2 道路 工事	5 擁 壁 工	9		コンクリートブロック 擁壁工		
19 林道 編	2 道路 工事	5 擁 壁 工	10		石積（張）工		
19 林道 編	2 道路 工事	5 擁 壁 工	11 12 13		かご擁壁工 鋼製擁壁工 簡易鋼製土留擁壁工		
19 林道 編	2 道路 工事	5 擁 壁 工	14		木製土留・擁壁工		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第1編3-15-3補強土壁工に準ず る。		
第1編3-15-4井桁ブロック工に準 ずる。		
第1編3-5-3-1コンクリートブ ロック工に準ずる。		
第1編3-5-5石積（張）工に準ず る。		
第19編1-5-12枠工に準ずる。		
第19編1-5-5木製構造物工に準ず る。		

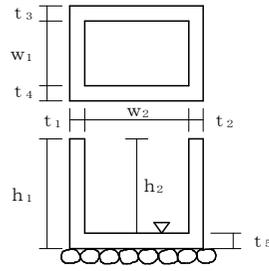
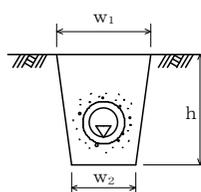
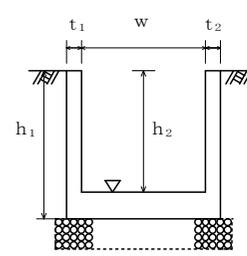
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
19 林道編	2 道路工事	5 擁壁工	15		土のう積工			
19 林道編	2 道路工事	5 擁壁工	16		土留・仮締切工			
19 林道編	2 道路工事	6 カルバート工	6		場所打函渠	基 準 高 ∇	± 30	
						厚 さ $t_1 \sim t_4$	-20	
						幅（内法） w	-30	
						高 さ h	± 30	
						延長 L	$L < 20\text{m}$	-50
							$L \geq 20\text{m}$	-100

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第18編3-5-9土のう積土留工に準ずる。		
第19編1-5-15土留・仮締切り・土のう工に準ずる。		
両端、施工継手及び図面の寸法表示箇所 所で測定		

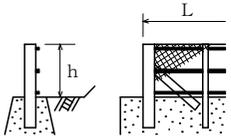
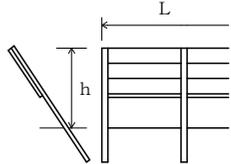
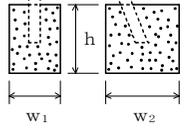
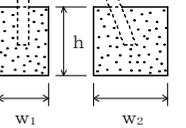
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
19 林道 編	2 道 路 工 事	6 カ ル バ ー ト 工	7		プレキャストカルバー ト工 (プレキャストボックス工) (プレキャストパイプ工)	基 準 高 ∇	± 30
						※幅 w	-50
						※高 さ h	-30
						延 長 L	-200
19 林道 編	2 道 路 工 事	6 カ ル バ ー ト 工	9		土留・仮締切工		
19 林道 編	2 道 路 工 事	7 排 水 施 設 工	3		側溝工 (プレキャストU型側溝) (コルゲートフリューム) (自由勾配側溝)	基 準 高 ∇	± 30
						延 長 L	-200
19 林道 編	2 道 路 工 事	7 排 水 施 設 工	4		管渠工	基 準 高 ∇	± 30
						延 長 L	-200

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、施工延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 ※印は、場所打のある場合。 1 施工箇所毎		
第 19 編 1 - 5 - 16 土留・仮締切・土のう工に準ずる。		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、施工延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、施工延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
19 林道編	2 道路工 事	7 排水施 設工	5		集水桝	基準高 ∇	± 30
						※厚さ $t_1 \sim t_5$	-20
						※幅 w_1, w_2	-30
						※高さ h_1, h_2	-30
19 林道編	2 道路工 事	7 排水施 設工	6		地下排水工	基準高 ∇	± 30
						幅 w_1, w_2	-50
						深 さ h	-30
						延 長 L	-200
19 林道編	2 道路工 事	7 排水施 設工	7		現場打（組立）水路工	基準高 ∇	± 30
						厚 さ t_1, t_2	-20
						幅 w	-30
						高 さ h_1, h_2	-30
19 林道編	2 道路工 事	8 落石雪 害防 止工	4		落石防止網工	幅 w	-200
						延 長 L	-200

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
1 箇所毎 ※は、場所打部分のある場合		
施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1 箇所、施工延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		
1 施工箇所毎		
施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1 箇所、施工延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		
1 施工箇所毎		
1 施工箇所毎		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
19 林道編	2 道路工事	8 落石 雪害 防止工	5		落石防護柵工	高 さ h	±30	
						延 長 L	-200	
19 林道編	2 道路工事	8 落石 雪害 防止工	6		防雪柵工	高 さ h	±30	
						延 長 L	-200	
						基礎	幅 w ₁ , w ₂	-30
							高 さ h	-30
19 林道編	2 道路工事	8 落石 雪害 防止工	7		雪崩予防柵工	高 さ h	±30	
						延 長 L	-200	
						基礎	幅 w ₁ , w ₂	-30
							高 さ h	-30
						アンカー長 ℓ	打 込 み ℓ	-10%
							埋 込 み ℓ	-5%

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1 箇所、施工延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎		
施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1 箇所、施工延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎		
基礎 1 基毎		
施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1 箇所、施工延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎		
基礎 1 基毎		
全数		

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値			
							個々の測定値 (X)		10 個の測定値の平均 (X ₁₀)	
							中規模以上	小規模以下	中規模以上	小規模以下
19 林道編	3 舗装	3 舗装工	6		半たわみ性舗装工					
19 林道編	3 舗装	3 舗装工	7		排水性舗装工					

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第1編3-6-8半たわみ性舗装工に準ずる。		
第1編3-6-9排水性舗装工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値			
							個々の測定値 (X)		10 個の測定値の平均 (X ₁₀)	
							中規模以上	小規模以下	中規模以上	小規模以下
19	3	3	9		グースアスファルト舗装工					
19	3	3	10		コンクリート舗装工					
19	3	3	11		薄層カラー舗装工					
19	3	3	12		ブロック舗装工					

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第1編3-6-11 グースアスファルト舗装工に準ずる。		
第1編3-6-12 コンクリート舗装工に準ずる。		
第1編3-6-13 薄層カラー舗装工に準ずる。		
第1編3-6-14 ブロック舗装工に準ずる。		

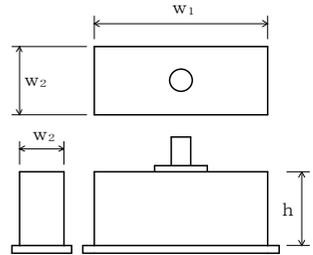
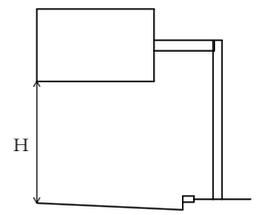
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値		
							個々の測定値 (X)		10 個の測定値の平均 (X ₁₀)
							中規模以上	小規模以下	中規模以上
19 林道 編	3 舗装	3 舗装工			歩道路盤工 取合舗装路盤工 路肩舗装路盤工	基準高▽	±50		—
						厚 さ	t < 15cm	-30	-10
							t ≥ 15cm	-45	-15
						幅	-100		—
19 林道 編	3 舗装	3 舗装工			歩道舗装工 取合舗装工 路肩舗装工 表層工	厚 さ	-9	-3	
						幅	-25	—	
						▽基準高	±30	—	

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>基準高は片側延長 40m 毎に 1 箇所割で測定。 厚さは、片側延長 200m 毎に 1 箇所掘り起こして測定。 幅は、片側延長 80m 毎に 1 箇所測定。 ※両端部 2 点で測定する。</p>	<p>○施工規模の考え方 ・中規模以上の工事とは、1 層あたりの施工面積が 2,000m² 以上かつ使用する 基層および表層用混合物の総使用量が 500t 以上の場合。 ・小規模工事とは、1 層あたりの施工面積が 2,000m² 未満または使用する 基層および表層用混合物の総使用量が 500t 未満(コンクリートでは 400m³ 未満)</p> <p>○厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値 (X₁₀) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータが 10 個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。</p>	
<p>幅は、片側延長 80m 毎に 1 箇所割で測定。厚さは、片側延長 200m 毎に 1 箇所コアーを採取して測定。 基準高は延長 40m ごとに 1 箇所割とし、道路中心線および端部で測定。</p>	<p>コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。</p>	

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
19 林道 編	3 舗装	4 路面排水工	3	4	側溝工 (L型街渠工) (L0型街渠工) (プレキャストU型側溝工) (管(函)渠型側溝工) 管渠工	基準高 ∇	± 30
						延長 L	-200
19 林道 編	3 舗装	4 路面排水工	5	5	街渠柵・マンホール工 (街渠柵工) (マンホール工)	基準高 ∇	± 30
						※厚さ $t_1 \sim t_5$	-20
						※幅 w_1, w_2	-30
						※高さ h_1, h_2	-30
19 林道 編	3 舗装	4 路面排水工	6		排水性舗装用路肩排水工	基準高 ∇	± 30
						延長 L	-200
19 林道 編	3 舗装	5 防護柵工	3		路側防護柵工		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所、施工延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 箇所 / 1 施工箇所		
1 箇所 / 施工延長 40m ※は現場打部分のある場合		
施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 箇所 / 1 施工箇所		
第 1 編 3 - 3 - 8 路側防護柵工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
19 林道 編	3 舗装	5 防護 柵工	4		防止柵工		
19 林道 編	3 舗装	6 標識 工	3		小型標識工		
19 林道 編	3 舗装	6 標識 工	4		土留・仮締切工		
19 林道 編	3 舗装	6 標識 工	5		大型標識工 (標識基礎工)	幅 w_1, w_2	-30
						高 さ h	-30
19 林道 編	3 舗装	6 標識 工	5		大型標識工 (標識柱工)	設置高さ H	設計値以上

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第1編3-3-7防止柵工に準ずる。		
第1編3-3-6小型標識工に準ずる。		
第1編3-10-5土留・仮締切工に準ずる。		
基礎一基毎		
1箇所/1基		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
19 林道編	3 舗装	7 道路付 属物施 設工	3		区画線工		
19 林道編	3 舗装	7 道路付 属物施 設工	4		縁石工		
19 林道編	3 舗装	7 道路付 属物施 設工	7		道路付属物工		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第1編3-3-9区画線工に準ずる。		
第1編3-3-5縁石工に準ずる。		
第1編3-3-10道路付属物工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
19 林道 編	3 舗装	7 道路付 属物施 設工	8		踏掛版工 (コンクリート工)	基 準 高	±20
						各 部 の 厚 さ	±20
						各 部 の 長 さ	±30
					(ラバーシュー)	各 部 の 長 さ	±20
						厚 さ	
					(アンカーボルト)	中 心 の ず れ	±20
						ア ン カ ー 長	±20
19 林道 編	3 舗装	7 道路付 属物施 設工	9		組立歩道工	基 準 高 ▽	±30
						幅 w	-30
						延 長 L	-200
19 林道 編	3 舗装	7 道路付 属物施 設工	9		組立歩道工 (支柱基礎工)	幅 w	-30
						高 さ h	-30

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
1 箇所 / 1 踏掛版		
1 箇所 / 1 踏掛版		
1 箇所 / 1 踏掛版		
全数		
全数		
全数		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎		
1 箇所 / 1 施工箇所		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
19 林道 編	3 舗装	7 道路 付 属 物 施 設 工	10		ケーブル配管工	基準高 ∇	± 30
						延長 L	-200
19 林道 編	3 舗装	7 道路 付 属 物 施 設 工	10		ケーブル配管工 (ハンドホール)	基準高 ∇	± 30
						※厚さ $t_1 \sim t_5$	-20
						※幅 w_1, w_2	-30
						※高さ h_1, h_2	-30
19 林道 編	3 舗装	7 道路 付 属 物 施 設 工	11		照明工 (照明柱基礎工)	幅 w	-30
						高さ h	-30

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
接続部間毎に1箇所 接続部間毎で全数		
1箇所毎 ※印は、現場打ちの場合		
1箇所/1施工箇所		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
19 林 道 編	7 木 造 橋	3 木 造 橋			木造橋（上下部構造）	基準高▽	±100	
						橋長、支間長	±50	
						全 幅 (B) 及び 全幅員 (B1)	±50	
						けた中心間距離 (d)	±30	
						橋台土留め (橋軸直角 又は 斜角方向)	幅 (b) 高さ (h)	-50 -30
						加工部材長さ		±50
						橋軸の編心量 (e)		±100

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>全箇所 橋軸方向の断面寸法は、中央及び両端部、その他は寸法表示箇所を測定する。</p>		
<p>けた、はり、ぬき、筋かい、高欄等の各部材</p>		